Ⅶ－２　井頭公園における民間活力導入方針とイメージ

１．公園の現状

【コンセプト】「水とのふれあい」「植物とのふれあい」「 動物とのふれあい」

- 井頭公園は、多様化するレクリエーション需要に対応するため、整備した公園である。園内には、豊かな水を生かした一万人プールやボート池、自然植物園、花ちょう遊館等があり、四季を通じてこどもから高齢者まで楽しまれている。

一万人プール

花ちょう遊館

グリーンサロン

（１）公園の概要

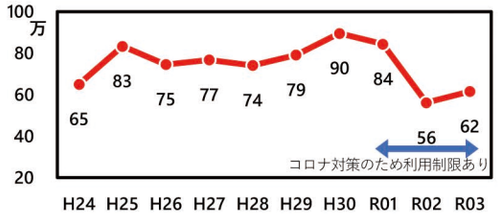
項目	諸元
所在地	真岡市下籠谷99
公園種別	広域公園
面積	［計画面積］93.3ha ［開園面積］93.3ha
供用開始	昭和49(1974)年4 月

（２）利用目的・形態（注５）

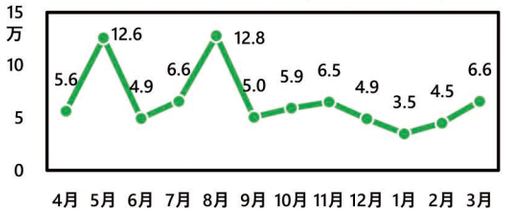
項目	内容
利用目的	散策･休憩、ウォーキング･ジョギング
利用形態	家族連れ

（注５）指定管理者へのアンケート調査結果より

（３）年間利用者数、月別利用者数の推移等



年間利用者数の推移（過去10年間）



月別利用者数の推移(H26-30の5年間平均)

【公園の課題】
- **アスレチック等の魅力低下やレクリエーション機能不足のため、更新時の工夫やレクリエーション機能の追加が必要**
- **花ちょう遊館や植物園の魅力が低下しているため、各施設のリニューアルや周知の工夫が必要**

２．民間活力導入方針

【目指す公園像】　世代を問わず、豊かな自然とのふれあいやレクリエーションを楽しめる公園

緑に囲まれた空間で手軽に楽しめるレクリエーション活動は、利用者のリフレッシュ効果を高めることにつながり、公園の魅力を向上させる要素の一つである。

そのため、幅広い年代が自然を満喫しながら遊べるアスレチックをはじめとする遊戯機能の導入を検討する。また、公園で一日遊んだ後、公園の豊かな自然や水辺とふれあいながら休養・休息できる宿泊機能の導入を検討する。

【求める機能】　①年間を通じ遊べる遊戯機能
②公園で遊んだ後くつろげる宿泊機能

【民間活力導入時の留意点】
- 「井頭周辺エリア活性化基本構想」との整合の確認が必要である。
- 周辺施設（真岡井頭温泉、チャットパレス等）との連携が必要である。

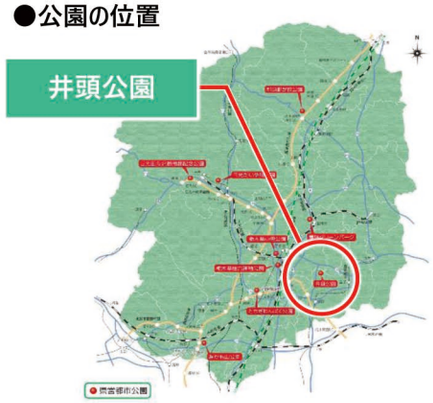
３．民間活力導入による事業イメージ

事業イメージ	①遊戯機能：自然を満喫できる大型アスレチック、ジップライン等 ②宿泊機能：豊かな自然や水辺にふれあえるキャンプ場・グランピング施設等

①遊戯機能

②宿泊機能

●公園の位置



●民間活力導入の想定エリア

（注６）図、写真は令和4（2022）年度時点のイメージ
（注７）赤丸の範囲は想定エリアであり、決定したエリアではない。

４．民間活力導入手法

導入機能	活用できる主な手法	想定エリア
①遊戯機能	Park-PFI（公募対象公園施設） 設置管理許可制度	A、B
②宿泊機能	Park-PFI（公募対象公園施設）	A

Ⅶ－３　鬼怒グリーンパークにおける民間活力導入方針とイメージ

１．公園の現状

【コンセプト】「水との出会い」

- 鬼怒グリーンパークは、スポーツ及び水辺のレクリエーションを目的とした公園である。宝積寺・白沢・上流広場があり、ボート池や水上アスレチック等施設や四季折々のポピー・コスモス・菜の花が楽しめる。

（１）公園の概要

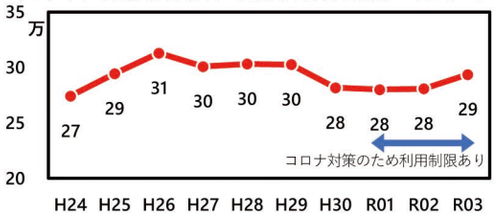
項目	諸元
所在地	塩谷郡高根沢町大字宝積寺86-1 （宇都宮市、さくら市、高根沢町）
公園種別	運動公園
面積	［計画面積］159.1ha　［開園面積］136.5ha
供用開始	昭和55(1980)年4 月

（２）利用目的・形態（注５）

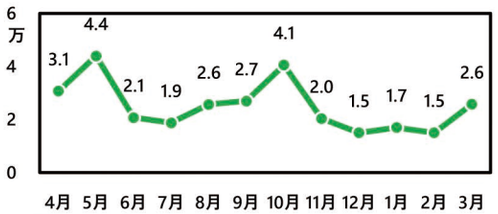
項目	内容
利用目的	遊び、スポーツ施設利用
利用形態	家族連れ

（注５）指定管理者へのアンケート調査結果より

（３）年間利用者数、月別利用者数の推移等



年間利用者数の推移（過去10年間）



月別利用者数の推移(H26-30の5年間平均)

【公園の課題】
- **アスレチックや遊具等の魅力が低下しているため、更新時の工夫やレクリエーション機能の追加が必要**
- **来園者の利便性や満足度向上のため、園内消費に特化した売店・サービスが必要**

２．民間活力導入方針

【目指す公園像】　広く開放された水辺空間で多様なアクティビティを一日楽しめる公園

開放的な空間で、思いきり体を動かすといったスポーツをはじめとするレクリエーション活動は、利用者の健康増進に繋がり、公園の魅力を向上させる要素の一つである。

そのため、水辺空間や芝生空間を活用し、体を動かす機会となるパークヨガ・スポーツイベントや、家族・友人と楽しめるBBQ機能導入を検討する。また、運動後・公園散策時に利用できる飲食機能の導入を検討する。

【求める機能】
- **①屋外における運動機能・遊戯機能**
- **②BBQ機能**
- **③手軽に利用できる飲食機能**

【民間活力導入時の留意点】
- 河川区域内にあることから建築物等の設置に制約がある。

３．民間活力導入による事業イメージ

事業イメージ	①運動機能・遊戯機能：開放的な空間で行うパークヨガやスポーツイベント ②BBQ機能：家族・友人と楽しめるBBQ施設 ③飲食機能：軽食等を提供するキッチンカー

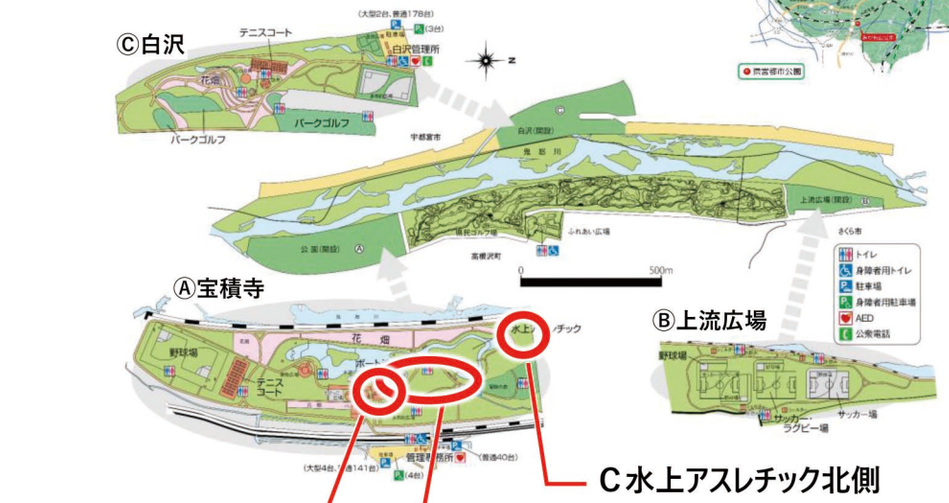
①運動機能・遊戯機能

②BBQ機能

③飲食機能

●公園の位置

●民間活力導入の想定エリア



（注６）図、写真は令和4（2022）年度時点のイメージ
（注７）赤丸の範囲は想定エリアであり、決定したエリアではない。
（注８）河川区域において機能導入を実現するため、施設整備を伴わない事業を想定

４．民間活力導入手法

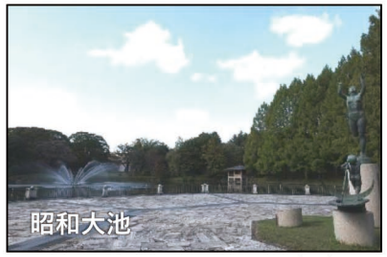
導入機能	活用できる主な手法	想定エリア
①運動機能・遊戯機能	行為許可制度	B
②BBQ機能	行為許可制度	C
③飲食機能	行為許可制度	A、B

Ⅶ－4　栃木県中央公園における民間活力導入方針とイメージ

1．公園の現状

【コンセプト】「水と緑と文化」

- 栃木県中央公園は、昭和天皇即位50周年記念公園として、栃木県立博物館の新設と併せて，本県における教育文化の施設として整備された公園である。４つの池を中心とした和洋折衷の回遊式庭園で構成されており、豊かな景観を特徴としている。



（１）公園の概要

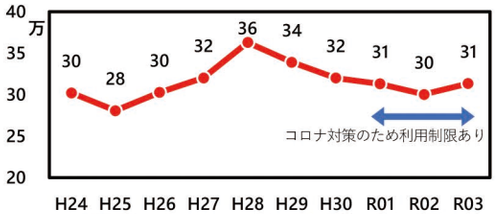
項目	諸元
所在地	宇都宮市睦町2-50
公園種別	総合公園
面積	［計画面積］10.5ha ［開園面積］10.5ha
供用開始	昭和57(1982)年10 月

（２）利用目的、形態等（注５）

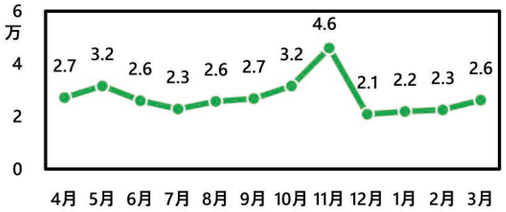
項目	内容
利用目的	散策・休憩、ウオーキング・ジョギング
利用形態	家族連れ、夫婦・カップル

（注５）指定管理者へのアンケート調査結果より

（３）年間利用者数、月別利用者数の推移等



年間利用者数の推移（過去10年間）



月別利用者数の推移(H26-30の5年間平均)

【公園の課題】　・来園者の利便性や満足度向上のため、
庭園の雰囲気に沿った飲食、休憩等の施設・サービスが必要

2．民間活力導入方針

【目指す公園像】　美しい庭園と豊かな水辺が調和したまちなかのオアシスで、心地よい時間を過ごせる公園

市街地における美しい庭園と豊かな水辺空間で行う散策・休憩は、利用者のリフレッシュ効果を高めることにつながり、公園の魅力を向上させる要素の一つである。

そのため、公園内の芝生空間や水辺空間でくつろぎながら軽食やコーヒー等を楽しみ、ゆっくりとした時間を過ごせる飲食機能の導入を検討する。

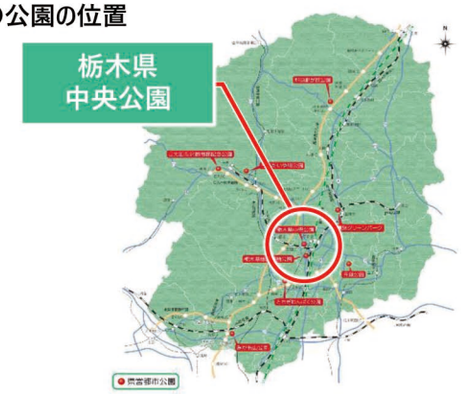
【求める機能】　①休憩場所となる飲食機能

【民間活力導入時の留意点】
- 緑地の管理に高い水準が求められる。
- 住宅地に立地していることから、騒音や匂いに配慮が必要である。

3．民間活力導入による事業イメージ

事業イメージ	①飲食機能：美しい庭園と豊かな水辺を堪能できる空間の提供とコーヒー等軽食が提供できるカフェ・レストランやキッチンカー

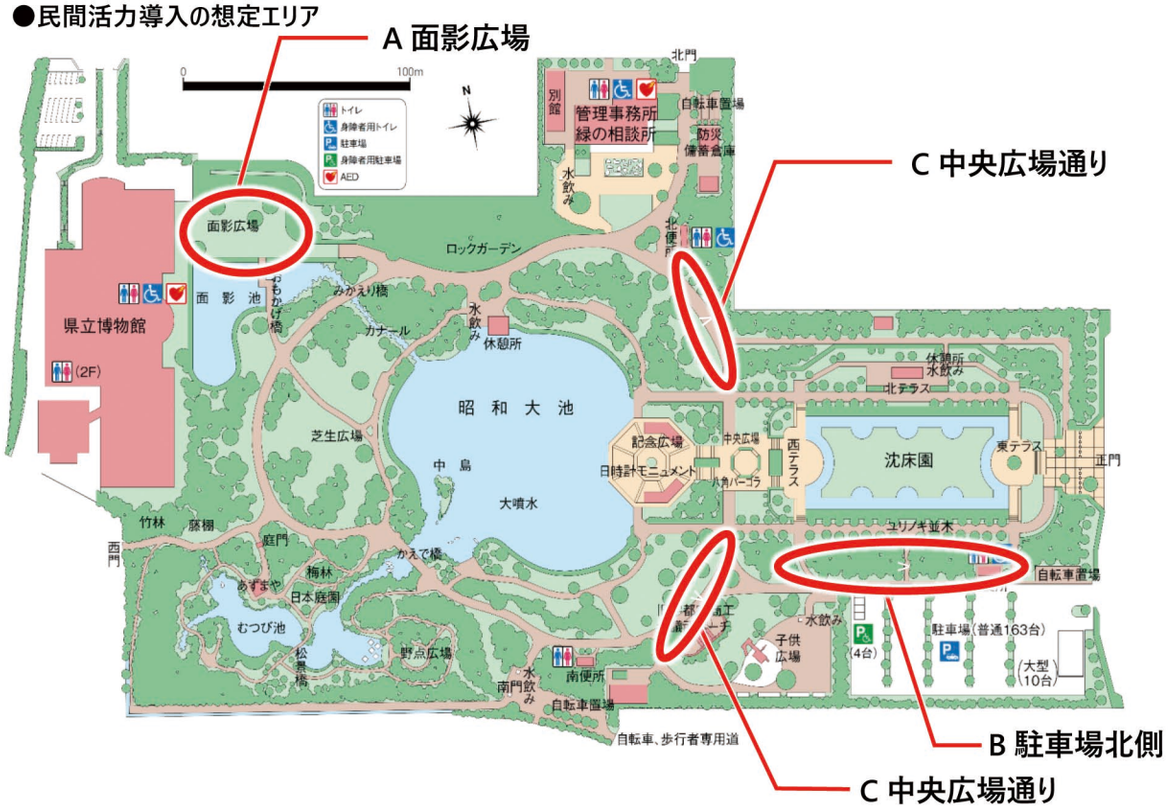
●公園の位置



①飲食機能

（注６）図、写真は令和4（2022）年度時点のイメージ
（注７）赤丸の範囲は想定エリアであり、決定したエリアではない。

●民間活力導入の想定エリア



4．民間活力導入手法

導入機能	活用できる主な手法	想定エリア
①飲食機能	Park-PFI（公募対象公園施設） 行為許可制度	A、B、C

Ⅶ－５　那須野が原公園における民間活力導入方針とイメージ

１．公園の現状

【コンセプト】「緑とやすらぎ」「健康スポーツ」「 郷土と文化」

- 那須野が原公園は、レクリエーション活動の拠点として位置付けられた公園である。日常生活におけるスポーツやレクリエーションの果たす役割に対応し、テニスコートやプール、冒険の森やわんぱく広場等が整備された。平成９年には、開園10周年を記念し、サンサンタワーが建築されている。

（１）公園の概要

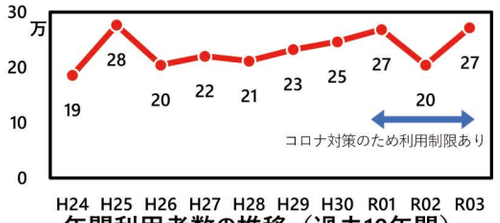
項目	諸元
所在地	那須塩原市千本松801-3
公園種別	広域公園
面積	［計画面積］59.4ha ［開園面積］59.4ha
供用開始	昭和63(1988)年7 月

（２）利用目的、形態（注５）

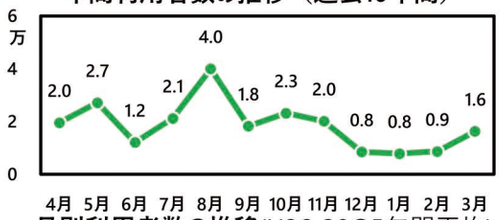
項目	内容
利用目的	ウォーキング・ジョギング、遊び、散策・休憩
利用形態	家族連れ、夫婦・カップル

（注５）指定管理者へのアンケート調査結果より

（３）年間利用者数、月別利用者数の推移等



年間利用者数の推移（過去10年間）



月別利用者数の推移(H26-30の5年間平均)

【公園の課題】　・来園者の満足度向上のため、園内消費に特化した売店・サービスが必要
・アスレチックや遊具等の魅力が低下しているため、
更新時の工夫やレクリエーション機能の追加が必要

２．民間活力導入方針

【目指す公園像】　那須連山を背景にした豊かな自然の中で、
幅広いレクリエーションを楽しめる公園

豊かな自然の中で行うレクリエーション活動は、利用者のリフレッシュ効果を高めることにつながり、公園の魅力を向上させる要素の一つである。

そのため、年間を通して利用できる自然を活かした遊戯機能・運動機能や、公園の豊かな自然を感じながら休養・休息できる宿泊機能の導入を検討する。

【求める機能】　①年間を通じ遊べる遊戯機能・運動機能
②公園で遊んだ後くつろげる宿泊機能

【民間活力導入時の留意点】
- 周辺観光施設との連携が必要である。
- 園内既存オートキャンプ場との機能分担が必要。（エリアCは設置管理許可のみ想定）

３．民間活力導入による事業イメージ

事業イメージ	①遊戯機能・運動機能：自然を満喫できる大型アスレチックやジップライン等 ②宿泊機能：那須連山の麓の自然を楽しめるグランピング施設

①遊戯機能・運動機能

②宿泊機能

●公園の位置

●民間活力導入の想定エリア

（注６）図、写真は令和4（2022）年度時点のイメージ
（注７）赤丸の範囲は想定エリアであり、決定したエリアではない。

４．民間活力導入手法

導入機能	活用できる主な手法	想定エリア
①遊戯機能・運動機能	Park-PFI（公募対象公園施設）	A、B
②-1宿泊機能	Park-PFI（公募対象公園施設）	A、B
②-2宿泊機能	設置管理許可制度	C

Ⅶ－6　みかも山公園における民間活力導入方針とイメージ

1．現状と課題

【コンセプト】「遊びの空間」「花と緑に親しむ空間」

- みかも山公園は、県南地域のレクリエーション活動の拠点として位置付けられた公園で、三毳山の一部を利用している。自然環境の保護や体験型レクリエーションの実施、また山の眺望と現在・過去・未来をパノラマできることを基本方針として整備している。

（1）公園の概要

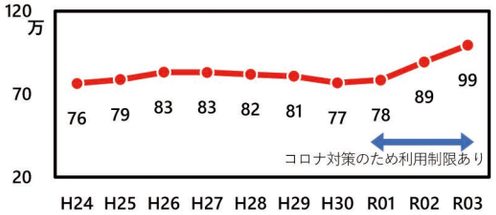
項目	諸元
所在地	栃木市岩舟町下津原 1747-1（栃木市、佐野市）
公園種別	広域公園
面積	［計画面積］166.5ha ［開園面積］165.9ha
供用開始	平成 7(1995)年 9 月

（2）利用目的・形態（注５）

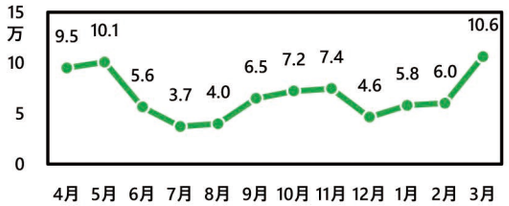
項目	内容
利用目的	散策･休憩、ウォーキング･ジョギング
利用形態	大人、家族連れ

（注５）指定管理者へのアンケート調査結果より

（3）年間利用者数、月別利用者数の推移等



年間利用者数の推移（過去10年間）



月別利用者数の推移(H26-30の5年間平均)

【公園の課題】　・トレッキングや散策を楽しむ来園者の利便性や満足度向上のため、三毳山の環境に調和した飲食、休憩、情報発信等の施設･サービスが必要

2．民間活力導入方針

【目指す公園像】　三毳山の四季折々の木々や草花をトレッキングや散策を通じて楽しめる公園

　トレッキングや散策をしながら四季の草花を楽しむことは、利用者の健康促進やリフレッシュ効果を高めることにつながり、公園の魅力を向上させる要素の一つである。
　そのため、山からの眺望や自然を鑑賞しながら休憩や食事ができる飲食機能の導入を検討する。また、山野草など四季の植物の情報、トレッキングルートなど公園の楽しみ方を発信する機能の導入を検討する。

【求める機能】　①休養場所となる飲食機能
②情報発信機能

【民間活力導入時の留意点】
- 新青少年教育施設事業でキャンプ場・グランピング施設を含む宿泊施設、BBQ施設を導入予定である。
- 「みかも山公園東側エリア魅力向上基本計画（仮称）」との整合の確認が必要である。
- 周辺施設（とちぎ花センター、道の駅みかも、いわふねフルーツパーク等）との連携が必要である。

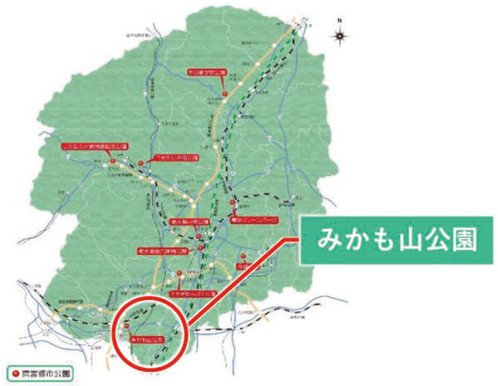
3．民間活力導入による事業イメージ

事業イメージ	①飲食機能：三毳山の環境と調和したレストラン・カフェやキッチンカー ②情報発信機能：トレッキングや散策を楽しむ公園利用者に、三毳山の魅力を発信できるサービスセンター

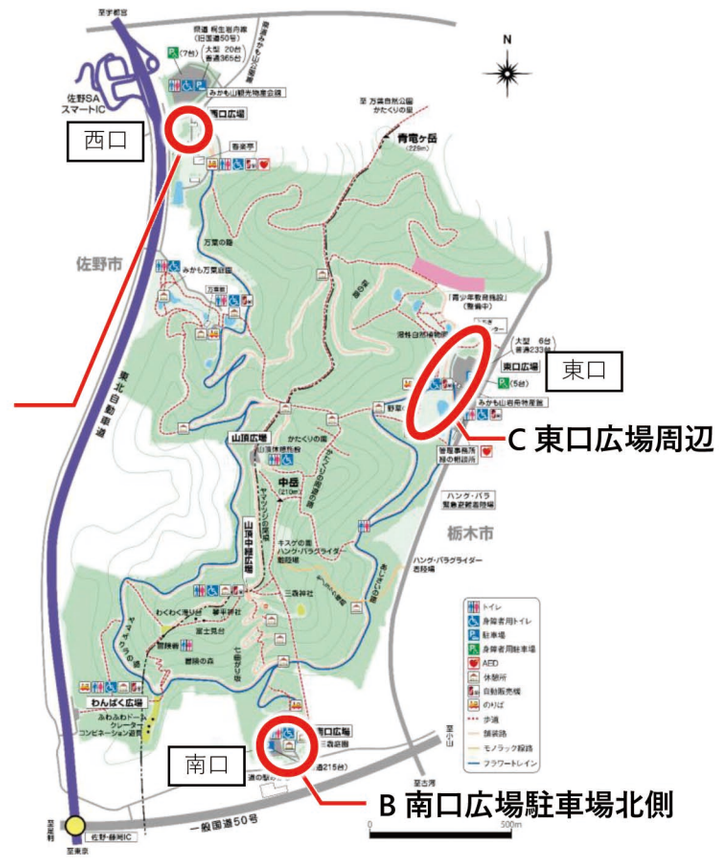
①飲食機能

②情報発信機能

●公園の位置



●民間活力導入の想定エリア



（注６）図、写真は令和4（2022）年度時点のイメージ
（注７）赤丸の範囲は想定エリアであり、決定したエリアではない。

4．民間活力導入手法

導入機能	活用できる主な手法	想定エリア
①飲食機能	Park-PFI（公募対象公園施設） 行為許可制度	A、B、C
②情報発信機能	Park-PFI（特定公園施設）	A、B、C